2023　年度 授業計画(シラバス)

学　科	柔道整復スポーツ学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	解剖学Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(4)　時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎301
担当教員	左　明	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

医学の最も基礎となるのが正常な状態の構造を学ぶ解剖学である。解剖学的知識を習得し機能を学ぶ生理学、病態を学ぶ病理学に繋がる。これらの流れで臨床に役立たせることを目的とする。解剖学では人体を系統別に分けて講義を進めて行く。

《成績評価の方法と基準》

毎回の小テスト、中間試験と後期試験の結果で総合評価する。前期試験は四肢択一、記述、論述を混合させた形式とする。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

解剖学改訂第2版(医歯薬出版)
早わかり解剖学ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ(ナツメ社)

《授業外における学習方法》

予習も重要であるが、毎回の講義・演習問題の復習をして、理解できなかった事項を克服する。

《履修に当たっての留意点》

解剖学は地味な学問ですが、柔道整復師にとって最も重要な学問であることを認識すること。授業内容だけでなく、テレビ・雑誌・インターネットなどで得られた情報も知識とすることを薦めます。各自マイ・ノート作りが肝要です。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌と外分泌と相違を説明できる。内分泌腺の種類・位置・ホルモンについて説明できる。	医歯薬出版　解剖学　配布プリント	ホルモンの種類と作用を調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	5. 内分泌系　A内分泌系(①内分泌器の働き　②内分泌器(下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体、副腎、膵臓、精巣、卵巣)		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌と外分泌と相違を説明できる。内分泌腺の種類・位置・ホルモンについて説明できる。	医歯薬出版　解剖学　配布プリント	ホルモンの種類と作用を調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	5. 内分泌系　A内分泌系(①内分泌器の働き　②内分泌器(下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体、副腎、膵臓、精巣、卵巣)		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌と外分泌と相違を説明できる。内分泌腺の種類・位置・ホルモンについて説明できる。	医歯薬出版　解剖学　配布プリント	ホルモンの種類と作用を調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	5. 内分泌系　A内分泌系(①内分泌器の働き　②内分泌器(下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体、副腎、膵臓、精巣、卵巣)		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の基礎について理解する(1)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	6　神経系　A　神経系の基礎　1. 神経系の区分と特徴　2. 神経組織 a. 神経細胞(ニューロン)　b. 神経細胞の種類c. 支持細胞		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の基礎について理解する(2)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	3. 灰白質, 白質と神経節, 根4. 中枢神経系の区分5. 脳室系6. 髄膜と脳脊髄液a. 硬膜b. クモ膜c. 軟膜		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳について理解する(1)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	B 脳 1. 各部の形態と機能 a. 終脳(大脳半球)b. 間脳c. 中脳, 橋, 延髄d. 小脳		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳について理解する(2)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	B 脳 1. 各部の形態と機能 a. 終脳(大脳半球)b. 間脳c. 中脳, 橋, 延髄d. 小脳		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄について理解する(1)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	C 脊髄区分a. 前根と後根(ベル・マジャンディーの法則)b. 脊髄の内部構造c. 中枢神経系の血管 2. 伝導路a. 反射路(反射弓)b. 上行性伝導路(感覚性伝導路)c. 下行性伝導路(運動性伝導路)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄について理解する(2)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	C 脊髄区分a. 前根と後根(ベル・マジャンディーの法則)b. 脊髄の内部構造c. 中枢神経系の血管 2. 伝導路a. 反射路(反射弓)b. 上行性伝導路(感覚性伝導路)c. 下行性伝導路(運動性伝導路)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経について理解する(1)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	a. 嗅神経b. 視神経c. 動眼神経d. 滑車神経e. 三叉神経f. 外転神経g. 顔面神経h. 内耳神経i. 舌咽神経j. 迷走神経k. 副神経l. 舌下神経		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経について理解する(2)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	a. 嗅神経b. 視神経c. 動眼神経d. 滑車神経e. 三叉神経f. 外転神経g. 顔面神経h. 内耳神経i. 舌咽神経j. 迷走神経k. 副神経l. 舌下神経		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄神経について理解する(1)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	a. 脊髄神経後枝b. 頚神経叢c. 腕神経叢d. 胸神経e. 腰神経叢f. 仙骨神経叢g. 陰部神経叢h. 尾骨神経i. デルマトーム		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄神経について理解する(2)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	a. 脊髄神経後枝b. 頚神経叢c. 腕神経叢d. 胸神経e. 腰神経叢f. 仙骨神経叢g. 陰部神経叢h. 尾骨神経i. デルマトーム		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	自律神経系について理解する(1)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	a. 交感神経系b. 副交感神経系c. 関連痛		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	自律神経系について理解する(2)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	a. 交感神経系b. 副交感神経系c. 関連痛		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　科	柔道整復スポーツ学科	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	解剖学Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎301
担当教員	左 明	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

医学の最も基礎となるのが正常な状態の構造を学ぶ解剖学である。解剖学的知識を習得し機能を学ぶ生理学、病態を学ぶ病理学に繋がる。これらの流れで臨床に役立たせることを目的とする。解剖学では人体を系統別に分けて講義を進めて行く。

《成績評価の方法と基準》

毎回の小テスト、中間試験と後期試験の結果で総合評価する。前期試験は四肢択一、記述、論述を混合させた形式とする。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

解剖学改訂第2版(医歯薬出版)
早わかり解剖学ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ(ナツメ社)

《授業外における学習方法》

予習も重要であるが、毎回の講義・演習問題の復習をして、理解できなかった事項を克服する。

《履修に当たっての留意点》

解剖学は地味な学問ですが、柔道整復師にとって最も重要な学問であることを認識すること。授業内容だけでなく、テレビ・雑誌・インターネットなどで得られた情報も知識とすることを薦めます。各自マイ・ノート作りが肝要です。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	外皮について理解する	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	1. 皮膚a. 表皮b. 真皮c. 皮下組織d. 皮膚に付属する角質器e. 皮膚腺 2. 筋, 腱, 関節の感覚神経a. 筋b. 腱c. 関節		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	視覚器について理解する	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	1. 眼球a. 眼球の構造b. 光受容器と網膜c. 視覚路 2. 眼球付属器(副眼器)a. 眼ケンb. 涙器c. 眼筋		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚器および平衡器について理解する	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	1. 外耳2. 中耳a. 鼓膜b. 鼓室c. 耳管3. 内耳a. 蝸牛b. 前庭c. 半規管		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	味覚器および嗅覚器について理解する	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	D 味覚器1. 味蕾2. 味覚神経 E 嗅覚器1. 嗅粘膜(嗅上皮)2. 嗅球, 嗅索3. 嗅覚中枢		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	体表解剖について理解する(1)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	体表区分 1. 区分2. 細区分3. 人体の区分線		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	体表解剖について理解する(2)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	骨格系1. 頭部2. 頚部3. 胸部4. 腹部5. 背部6. 上肢7. 下肢		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	体表解剖について理解する(3)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	筋系1. 顔面, 側頚部2. 頚部前面3. 胸部前面4. 腹部前面5. 背6. 上腕7. 前腕8. 手背9. 大腿部10. 後下腿部11. 筋肉注射部位		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	体表解剖について理解する(4)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	脈管系 1. 拍動の触れる動脈a. 頭部b. 頚部c. 上肢d. 下肢e. 心尖拍動 2. 静脈注射および点滴部位		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	体表解剖について理解する(5)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	神経系 1. 三叉神経2. 大後頭神経3. 尺骨神経4. 坐骨神経5. 総腓骨神経6. 手根管症候群7. 斜角筋症候群		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	体表解剖について理解する(6)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	F　目, 耳, 鼻, 口1. 眉毛, 目2. 耳3. 鼻4. 口 G　外皮1. 皮膚2. 毛3. 爪4. 乳房		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	映像解剖について理解する(1)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	診断用X線1. 単純X線検査法2. 断層撮影法3. 造影撮影法4. X線透視検査		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	映像解剖について理解する(2)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	B　CTスキャンC　磁気共鳴画像診断法(MRI)D　サーモグラフィ		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	理解度の確認	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	後期講義復習②		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	まとめ(1)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	後期全講義の復習をする
		各コマにおける授業予定	後期講義復習①		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	まとめ(2)	解剖学 第2版. 医歯薬出版株式会社 配布資料	後期全講義の復習をし学生の理解度を確認する
		各コマにおける授業予定	後期講義復習を行い学生の理解度を確認する		